

鹿児島県医療法人協会立看護専門学校自己点検自己評価
～令和3年度まとめ～

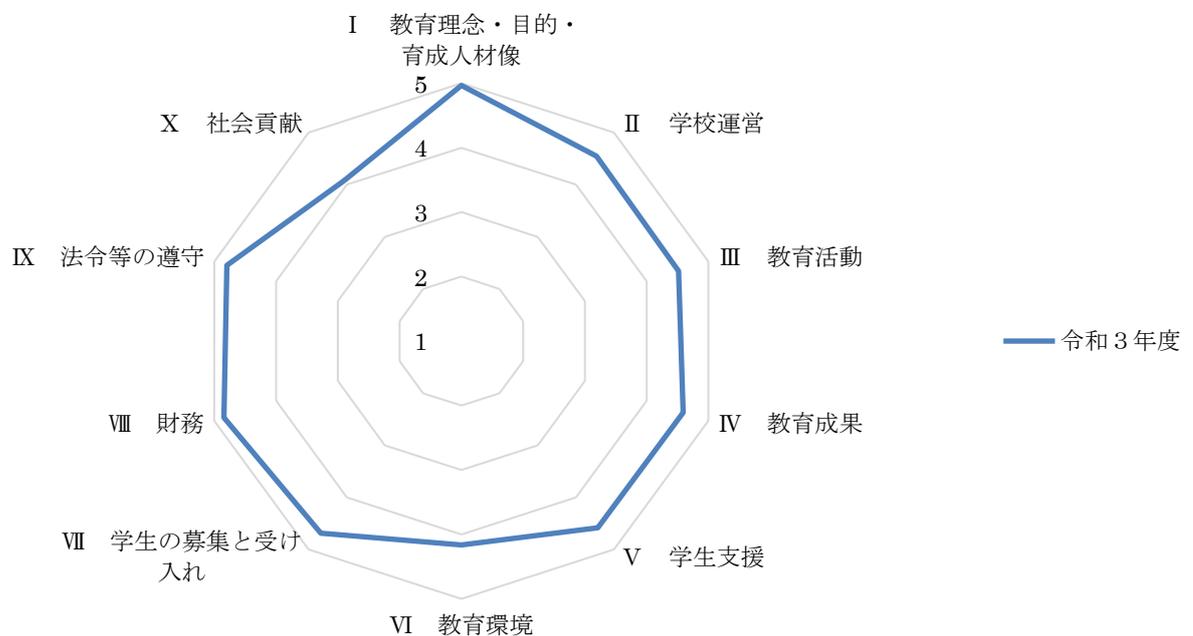
1. 本校における自己点検・自己評価についての取り組み

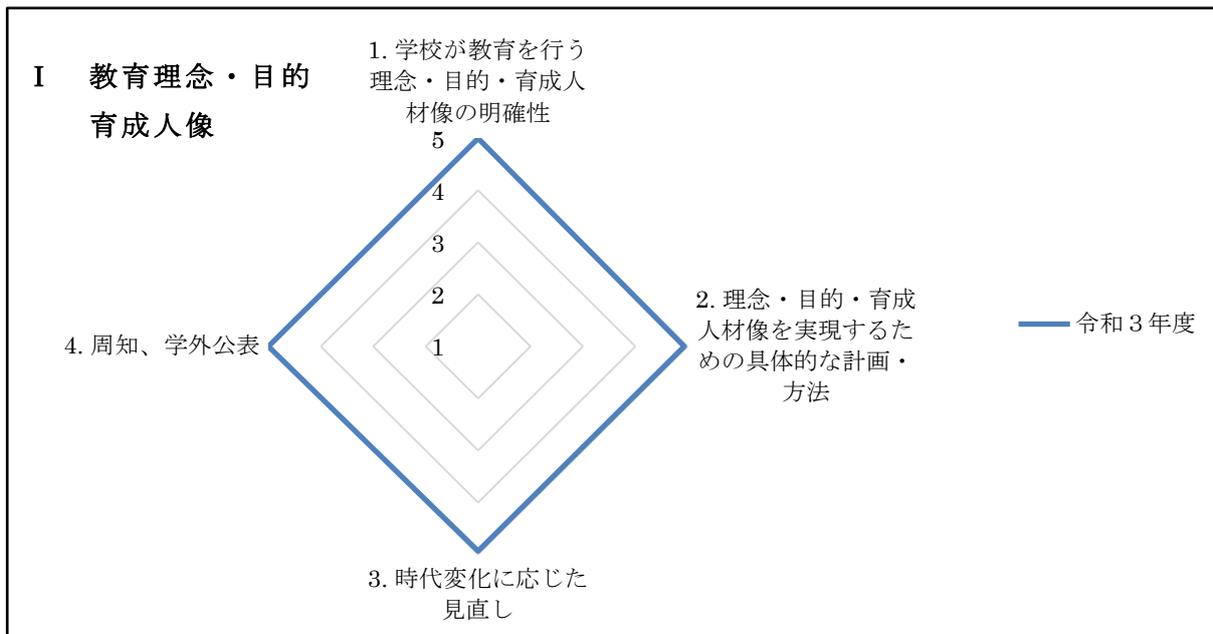
本校は令和2年度の学校自己点検自己評価結果を受け、令和3年度の重点目標に「学生支援の向上」と「職員の自己研鑽」を継続し掲げた。特に教職員間・学校関係者との共有連携を図ること、学生の自己学習能力を高めること、社会人基礎力を高めることに努めた。年度末に活動目標に沿った各自の教育実践や業務を振り返るとともに、学校評価を実施し評価報告書としてまとめた。

2. 自己点検・自己評価結果（令和3年度）

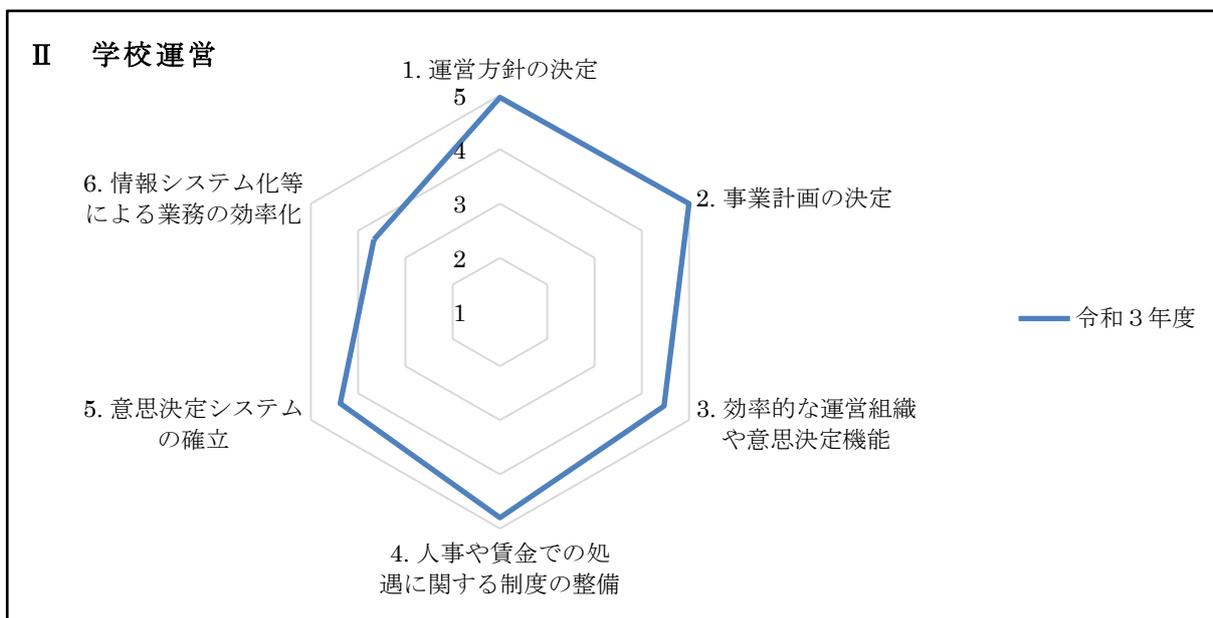
以下は大項目（I～X）毎にその平均値を図に示した。次に、各領域について評価された数値を点検項目別に集計し平均値を出し、振り返りを行った。

自己点検・自己評価・大項目の平均値



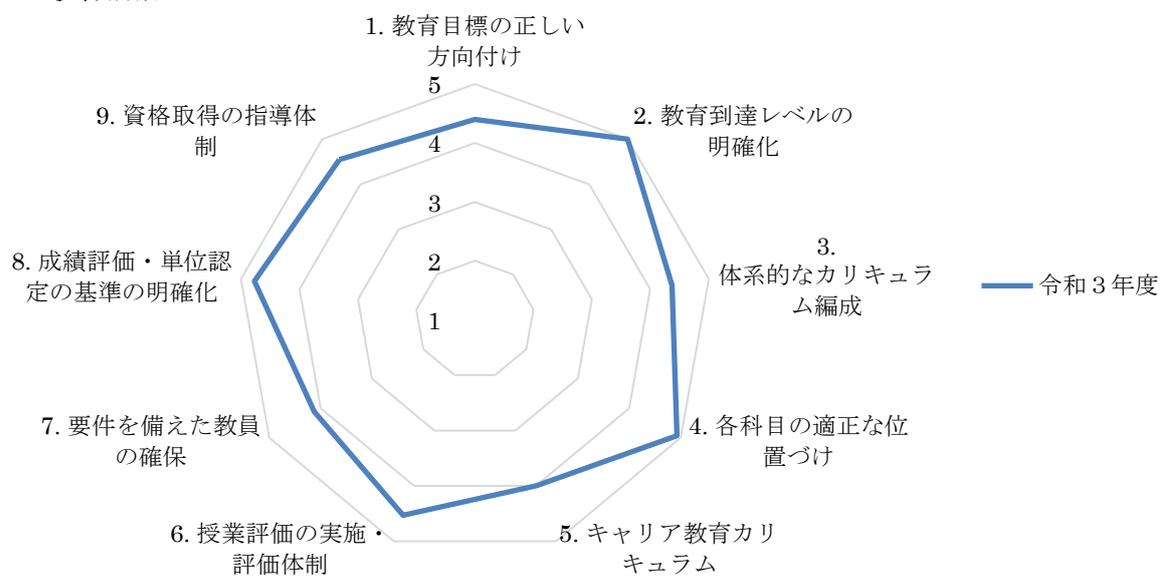


教育理念・目的・育成人材像については設置主体である一般社団法人鹿児島県医療法人協会の目的から確認し、「地域で生活するすべての人を対象に看護を実践し活躍できる能力を育成すること」という原点を教員間で共有することができた。このように新カリキュラムの検討の経過で社会の変化や看護師の役割の拡大を見据えた教育計画を作成し、新たなカリキュラムを編成することができた。



一般社団法人鹿児島県医療法人協会の重点事業のひとつが地域に根差した看護職人材育成であり、そのための学校運営として看護師養成所指定規則に則り学校運営方針、組織図、年間事業計画を策定、実施している。昨年に引き続き新型コロナ感染の及ぼす影響に対応しつつ、定期的な会議開催や必要な小会議の開催で運営を進めてきた。校内のICT環境は整備されてきたが、ソフトウェアの選択やその活用による業務の効率化はまだ検討していく必要がある。

III 教育活動



教育活動は新カリキュラムの作成とそれに伴う旧カリの見直しの過程における検討で、ほとんどの部分は高い数値になった。その中で他の項目より低い「キャリア教育カリキュラム」は看護専門職となる学生自身の自己理解、職業理解から自己課題を見つけられるように、新カリキュラムにおいて見直しを行った。授業評価の実施・評価は実施しており、その活用につながるよう教員の教授能力向上に関する研修支援を継続していく。

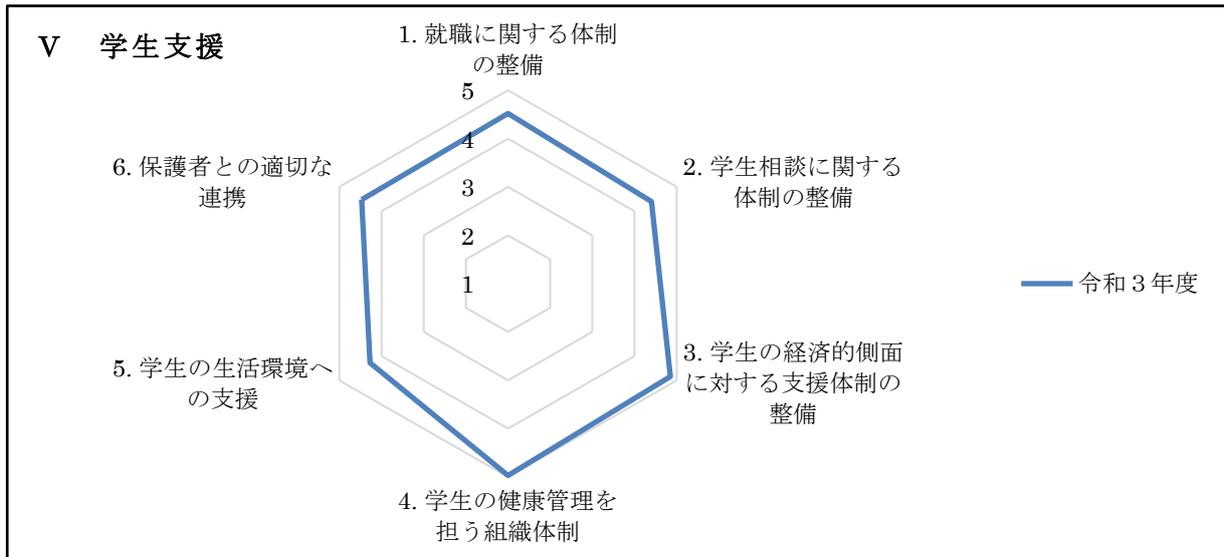
IV 教育成果



当校は「地域に根差した看護の実践者の育成」を掲げており、令和3年度も就職率は100%で、助産師への進学その他、ほとんどが県内就職を果たしている。看護師資格習得の指導は1年次から具体的に明確に伝え、学年ごとに対策を立てながら取り組み、令和3年度の看護師国家試験は全員合格であった。

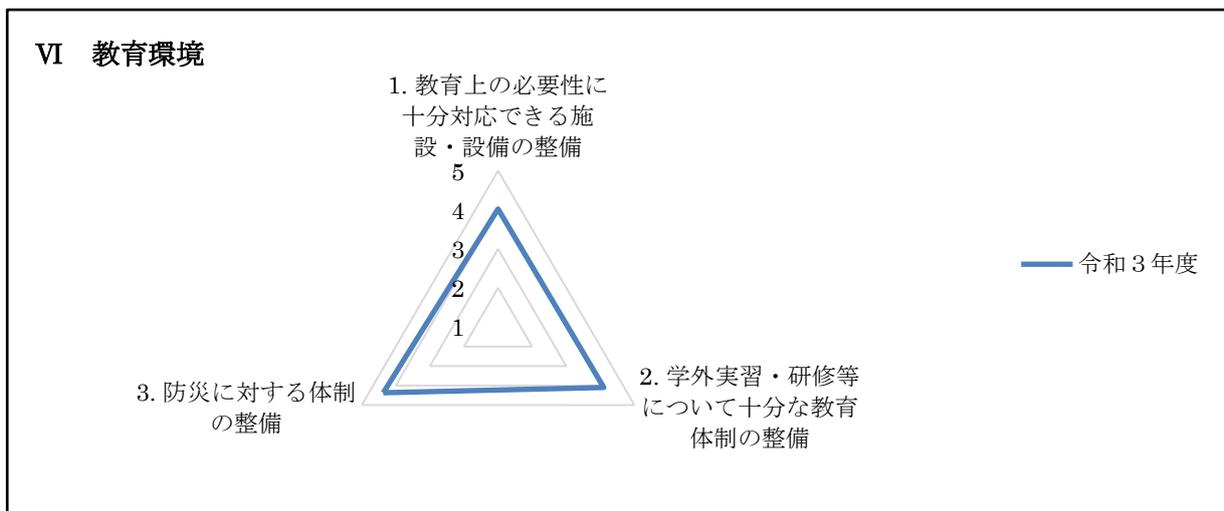
令和3年度においては早い段階の面接から新入学生の状況を把握し相談の時間を設けてきたが、1名が進路変更のため退学となった。

卒業後來校し、教員との交流で悩みや活躍を聞く機会は継続しており、さらに就職先病院と卒業後の状況を共有し教育に活かしている。



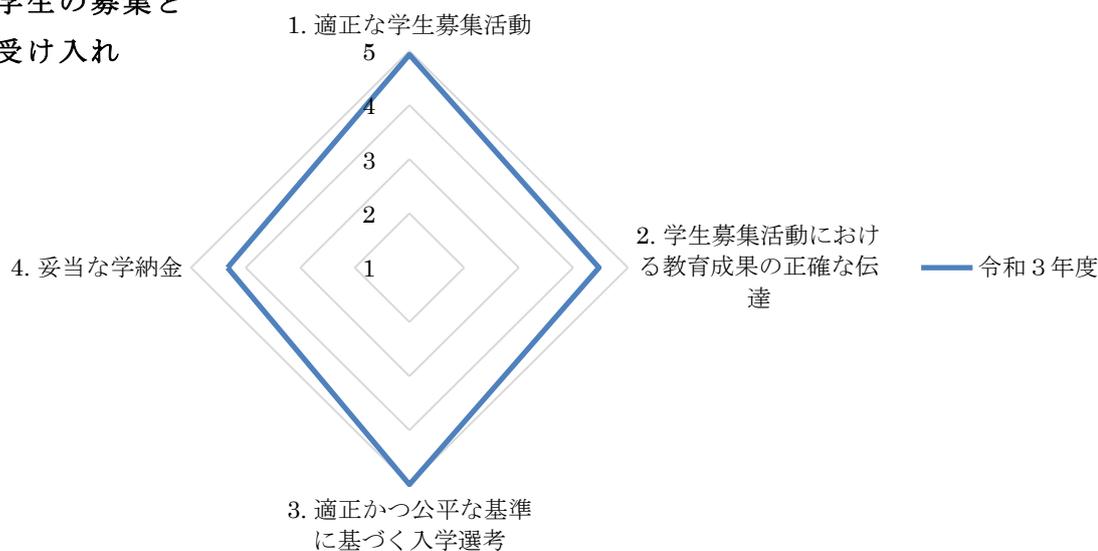
就職に関する体制、学生相談に関する体制、経済的支援の体制は情報の提供や相談窓口等整備されている。希望する学生は、病院奨学金や高等教育修学支援新制度や職業教育訓練給付金、鹿児島県修学資金等の活用ができています。

保護者との連携は、学校生活への適応や成績不振、単位未修得の学生について早めに行い、家庭と連携協力して学生の学習が行えるよう支援した。学校行事を新型コロナウイルス感染拡大防止のため制限せざるを得ない中、映像配信等、密を避けた保護者説明会を開催した。単位習得困難者の支援は履修の機会を確保するなど対応を行うが、保護者の理解など課題を残している。



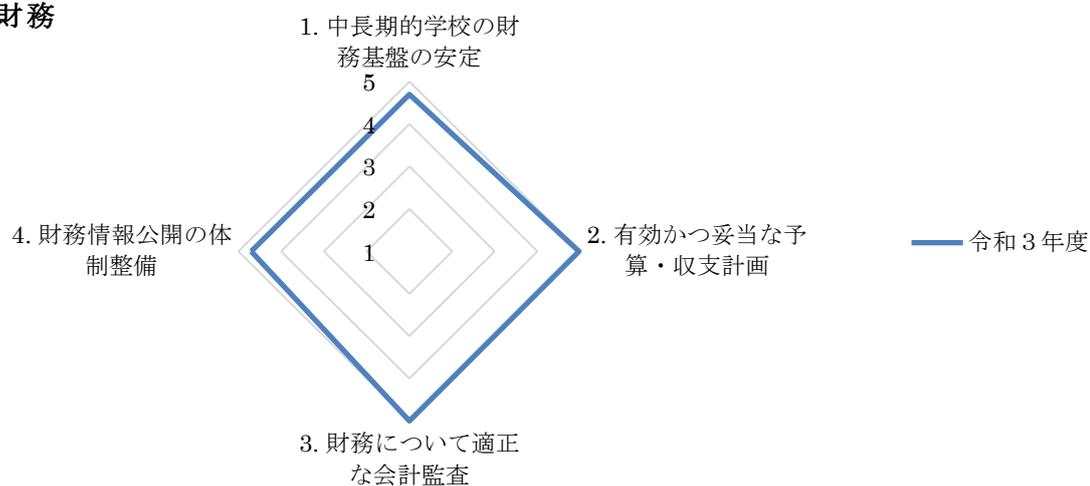
令和3年度も新型コロナウイルス感染の影響は大きく、臨地での実習が取りやめになり学内へと切り替えることも多かった。その中でも関係機関と連携し、臨地実習の機会をできるだけ調整し、校内のICT環境の整備が進んだことによりオンラインで臨床指導者から指導をいただける機会を得ることができた。

Ⅶ 学生の募集と受け入れ



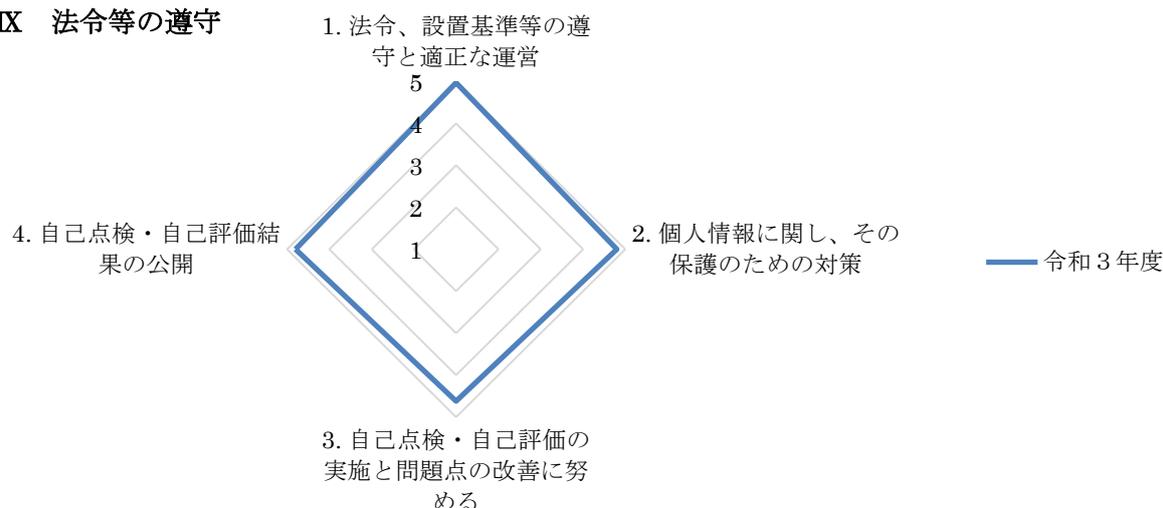
令和3年度の学校説明会は感染対策をふまえながら開催した。オープンキャンパスは感染対策に努め教職員による内容へと規模を縮小したが、例年通りの成果を得た。学校説明会もオープンキャンパスも参加者からは開催されてよかったとの声が多く聞かれた。ホームページもより見やすいよう改良を加え、ガイダンス等広報にも力を入れた。令和4年度の定員は満たしたものの、応募者の減少は継続しており今後も一層の広報活動を工夫していく。

Ⅷ 財務



設置主体の総会において年度予算、中期計画が目的・目標に照らして立てられており、計画に従って執行されていることが承認された。事務窓口では財務情報は公開している。職務分掌や、組織体制も年度ごとに見直されているため、行政機関における経営的立場では健全に管理運営されている。

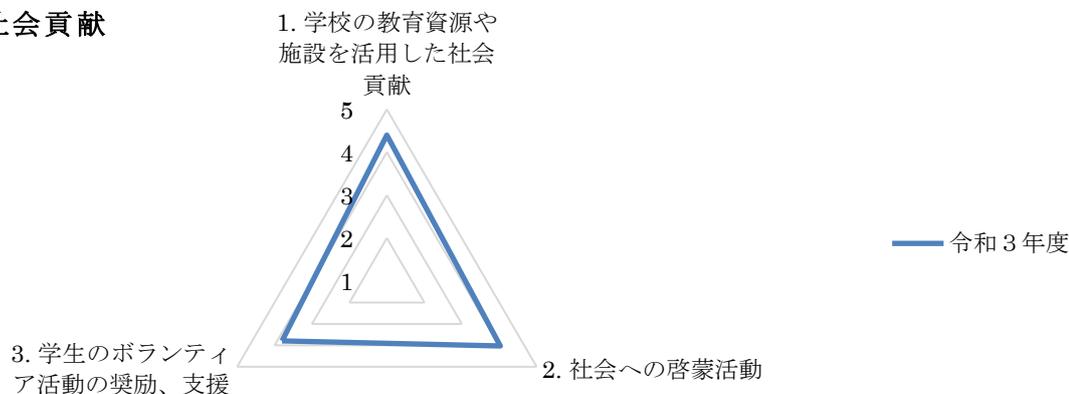
IX 法令等の遵守



令和3年度はカリキュラム改定があり看護師養成所指定規則や専修学校設置基準等を遵守した上での教育内容や方法の見直しを行い、県より認可を得た。個人情報に関しては教科やネットポリス講話などの教科外の啓蒙を通じて周知し、行動化が伴うように指導を継続している。

学校自己点検・自己評価を全教員で行い、学校関係者評価の実施、公表までの取り組みをおこない広い視野からの学校運営の示唆、支援をいただいている。今後もこれらを継続し、より良い運営を目指していく。

X 社会貢献



学校の教育資源や施設の活用については、本校は指定避難所になり災害時の地域住民の受け入れを行っている。また地域のネットワーク会議に参画し、地域の状況を知り可能な地域貢献を考え、令和3年度は学生の発案で地域清掃を行った。コロナ感染の影響で学校祭での地域交流はできなかったが、その代わりに行った地域清掃では、地域の方から直接言葉をいただけて学生も交流の喜びを感じていた。学生のボランティアは感染拡大の影響で難しい状況が続いているが、社会状況の変化をとらえながら対応していきたい。

3. まとめ

令和3年度は通常感染症予防対策にとどまらず、コロナ感染拡大防止のため、実習や講義においてタイムリーかつスピーディーに対応しなければならないことが多かった。また、第5次カリキュラムの編成と提出を終えて、目指す看護実践能力の育成とそのための教育活動について教職員で検討することができた。今年度も社会の状況に対応しつつ、学校運営や教育活動に活かしていく。